

日刊 磐城時報

編輯兼發行人 岡田 弘成
印刷所 加納印刷所
福島縣石城郡平野町屋敷十四
一、部金貳拾元、一月金貳拾元、三月金五拾元、半年金九拾元、一年金一拾八拾元、廣告料一行十四字、日金五拾錢、印刷費別計、休刊日、日曜、祭日、休刊

災害地免租問題

唯野署長の名解決

六十五條に於該當せぬが
極力寛大な處置をこころ

過級の暴風雨で濱三郡の稲東流漏免租とはならぬけれども被害
失は莫大な数に上るので農民はの程度により或る程度の免租を
縣並に國に對し昭和七年度の地うけるわけで、流石に地租法の
租免除方を陳情した向きもあり權威者として本省内で定評のあ
平、相馬の兩稅務署に於て對策つた、唯野署長の名解決として
を講究中であつたが十二日唯野好評を博してゐる。唯野署長は
平稅務署長は地租法第六十五條
の收獲皆無とは認めず、従つて
同條による免租はせざる事に確
定した。然し實狀を調査すれば
相當の被害は認められるので地
租法第五十四條即ち
荒地と稱するは災害により地
形を變じ又は損傷したる土地
を言ふ
といふ條文に照し同條により寛
大な處置をこころ事になつた。結

川前村の收入役

公金三千圓横領

養父が辨償するので
同村の實害はない

石城郡川前村役場の前收入役代で十日以來永山を取調た外参考
理永山新三(三三六)は昭和三年三人として當時の村長佐藤二郎外
月同村收入役代理書記として就職にも出頭を求め小能署長が
任本年五月三十日退職したが、取調中であつたが、十二日に至
その間多額の公金を横領消しし永山は公金三千二百五十圓を
てゐたとの風評ある小野新町署横領してゐたことを自白した。

農産物品評會

植田
町及び山田村聯合農産物品評會
は既報の如く植田市場に開催
十二日午後一時から菊多實業學
校において褒賞授與式を舉行し
た、入賞者の如し

平署、總動員で 歳末の犯罪防止

一九三二年の歳末は
愈々目睫に迫る

平町講演

東郷實氏
三日同校に於て收納式を舉行す
る事となり盛り澤山の余興もあ
る筈、而して職員生徒の一人一
つの研究発表等あり同校の昨今
收納気分が溢れてゐる。

同署では取調一段落と共に永山
に一時歸宅を許し一件書類のみ
平檢事局に送附する事になつた
永山新三はほとんど無財産にし
て養父永山幸三郎氏が一切の辨
償に應ずるはずで既に二千五百
圓を返済してをり同村としては
別段の損害なく解決するものと
見られて居る。尚永山の横領し
た金は遊興費の外生活費の一部
その他は知人に一時融通して居
たものであるが、回收不能にな
つて居るらしく共犯關係はない

拾ひあつた稲穂が 積つて八俵に達す

平窪村の基本財産

高平小學校庭で 小林上等兵の村葬

相馬支局通信

筆剣合同忘年會

平五 山野邊藥局

石城郡平窪村小學校兒童は過級に二十組合に過ぎない。これは
の水害で流失した稲束を拾ひ上
げたので落穂を寄附される事に
てゐるためだが申込期間は十五
日迄で時日も切迫してをり右期
間を超過すれば無効となる所か
ら平取締所は全組合の取まとめ
に奔走してゐる。

平窪村の基本財産

産業組合長會

忘年會に馬力をかける

石城の蒟蒻

筆剣合同忘年會

平五 山野邊藥局

平町麵類値上

平町
麵業組合では原料騰貴のため十
五日より値段改正を斷行約二割
方の値上げをする。

桑園改植 補助申請遅る

石城郡下養蠶實行組合に桑園改
植補助金十萬七千九百圓が交付さ
れる事になつてゐるが百九十一
組合中申請手續の了したものの僅
二に達してゐるが、これを昨

平野の杖の高

昨年より二萬圓減

筆剣合同忘年會

平五 山野邊藥局

平野の杖の高

昨年より二萬圓減

筆剣合同忘年會

平五 山野邊藥局

筆剣合同忘年會

平五 山野邊藥局

筆剣合同忘年會

平五 山野邊藥局

天地堂の大犠牲

新築落成 抽籤券附大特賣!!

- ◎特賣品目 蓄音器、レコード、萬年筆
- ◎特賣組数 甲組十組(三百本) 乙組十組(三百本)
- ◎特賣期間 昭和七年十二月一日より昭和八年二月末日まで
- ◎抽籤券 特賣品一品毎に添付致します
- ◎抽籤場所 於 天地堂
- ◎抽籤日 昭和八年三月五日(新聞記者顧客立會)
- ◎抽籤発表 昭和八年三月七日(平日) 昭和八年三月十日(日)
- ◎景品引替期間 自昭和八年四月十日 以内とす

賞品甲號(三百本一組)内容

壹等大東京號自轉車二本、貳等三ツ重筆筒五本、參等上等時計十五本、四等日覺時計三十本、五等上等裏地五十本、六等御風呂敷敷全部

賞品乙號(三百本一組)内容

壹等十形腕時計二本、貳等銘仙上製御座布御五本、參等精工舎製日覺時計十五本、四等上等裏地三十本、五等ライタ付シャープペンシル五十本、六等御手當貴殘全部

福島縣平町三丁目

コサツク萬年筆本舖 天地堂
各種蓄音器レコード
電話五八九番

素人の私が

痔の妙藥發見

同病者に秘法を傳ふ

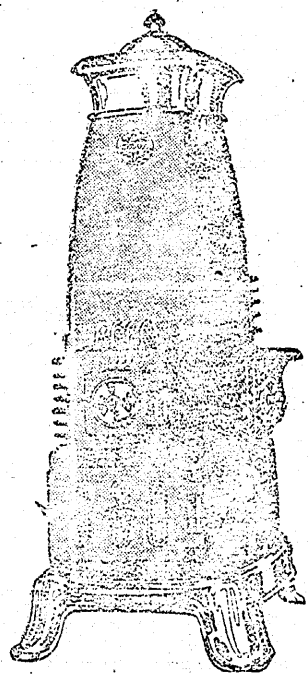
私は永年頑固な痔にて苦しんだ者です。誇大な廣告に迷ふたり、民間藥を信じては試みましたが是れとして効果の顯れた物は無かつたのです。フトした機會に或る食物から簡單な操作で妙藥が出来ました。然かし醫師、藥劑士でもない素人の私は遺憾ながら如何なる靈効妙藥を發見しても製藥販賣が出来ません、そこで私は金費圓を謝禮として頂き費用の續く限り天下の同病者へ体験による手當法と製法をお傳ひする事に致しました。

埼玉縣大宮町吉舖二二一 下宿 至誠館主

嚴冬の征服者

福祿ストーブ

戸毎に福祿



四海は常春

電話三七七番へ 早速持參致します

平停車場前

福祿ストーブ 阿部石炭店
福島縣一手販賣

皇漢藥合成品

喘息五靈湯

五日分 一目性

山野邊藥局

廣告

新任外科部長

内本學士來任

七月十一日より毎日診療ニ從事ス

内臓外科 醫學士 内本宗八
整形外科
泌尿器科

昭和七年七月

平町新川町十九番地

外産婦人科 木村病院
電話一六四番

カクニ石鹼

生命と信用を賭して 精選せる純良の 質と量
最後の一片が消え去る迄 優雅な香が續く……
化粧用 一ヶ 十錢
洗濯用 一ヶ 十錢

ツルヤ 平町4 電140

吉田眼科病院

平町紺屋町 電話六八番

平館割引券

二十錢券 一枚十五錢

平町土橋



電話四八九

吸入用酸素

純度 99%

モノサシ
マス
ハカリ
体温器
寒暖計

秤ノ取緒・鍍糸・修覆機シマス

内本藥局

電話四〇番

平看護婦會

會長 清野キヨ
平町字南町 電話三〇七番
看護婦派出の需めに應じます



希望者は本社へ御問ひ合せを乞ふ